

## 5. 訪問看護ステーション数と従事者数の年次推移

- 訪問看護ステーション数は平成18年にピークを迎えている。
- 常勤換算看護職員1人当たりの延利用者数が増加しているにもかかわらず、1事業所当たりの常勤換算看護職員数は増加していない。
- 看護職員の負担は相当程度あり、事業所単位で顧客の拡大ができないのではないか。

○介護給付対象の訪問看護ステーション設置数→事業所数は漸増傾向が続き、うち8割は24時間体制。

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
4,730 (70.8%)	4,825 (73.5%)	4,991 (75.2%)	5,091 (77.1%)	5,224 (77.7%)	5,309 (78.6%)	<b>5,480</b> ※速報値

※ ()内は、緊急時訪問看護加算の届け出事業所の割合

※緊急時訪問看護加算・・・訪問看護ステーションが利用者又はその家族に対して24時間連絡体制にあり、かつ、計画的に訪問することとなっていない緊急訪問を必要に応じて行うことを評価するもの。

○介護給付対象の訪問看護従事者数→職員一人当たりの延べ利用者数は若干増加する傾向。

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1事業所当たり 常勤換算従事者数	4.5	4.6	4.8	4.9	5.0
1事業所当たり 常勤換算看護職員数	4.0	4.2	4.2	4.2	<b>4.2</b>
9月中の常勤換算看護職員 1人当たり延利用者数	57.4	61.6	67.6	67.8	69.1
(訪問看護利用者数)	22.1万人	24.5万人	26.3万人	27.5万人	<b>28.0万人</b>

【資料】厚生労働省介護サービス施設・事業所調査